

患者の皆様へ

2022年7月12日

感染制御部

現在、感染制御部では、抗菌薬適正使用に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2013年4月から2021年3月までの8年間に千葉大病院に入院し、抗菌薬を使用した方の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「AST(抗菌薬適正使用チーム)活動と抗菌薬許可制が抗菌薬使用動向に及ぼす効果分析 データウェアハウスを利用した後方視研究」

2. 研究の意義・目的 「千葉大学医学部附属病院では、抗菌薬の適正使用にむけた活動を行っており、2016年には抗菌薬適正使用を推進する他職種チームを作り活動を始めています。また、2018年には特定の抗菌薬の使用前に感染症専門医師への相談を必須として管理体制を強化しています。本研究では、我々の行なってきた活動に問題がなかったか明らかにすることを目的に、附属病院に入院治療した患者さんの抗菌薬使用状況と治療成績を分析します。」

3. 研究の方法 「2013年4月1日から2018年3月31日の間において、診療録に記載されている性別、年齢、入院日、退院日、使用抗菌薬と抗菌薬の投与日、細菌検査情報と退院時のアウトカムを抽出する。また、2016年に抗菌薬適正使用推進チームを設立しているため、設立以前の期間(2013年から2016年)と設立後の期間(2016年から2018年)、さらに抗菌薬使用事前承認を開始した期間(2018年から2021年)の抗菌薬使用動向と経済効果、アウトカムの関連を調べる」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名・患者IDを削除し、研究用IDを付与し、特定の個人が識別できないデータに加工して管理し、外部に洩れることのないように厳重に管理します。また、氏名と研究用IDを一致させるための対応表を作成し、附属病院感染制御部内の外部接続のないコンピューターで管理する。研究成果の発表にあたっては、患者さん

の氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学医学部附属病院感染制御部の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院感染制御部

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院感染制御部

医師 猪狩 英俊

043（222）7171 内線 6445

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。